

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

重要な会計方針は次のとおりである。

(1) 平成24年度から公益法人会計基準(平成20年)を採用している。

(2) 有価証券の評価基準及び評価方法

① 満期保有目的の債券

償却原価法を採用している。

② 満期保有目的の債券以外の有価証券

時価法を採用している。

(3) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

建物付属設備 …………… 減価償却資産の耐用年数等に関する省令(昭和40年 大蔵省令第15号)に定める定率法を採用している。

什器備品 …………… 減価償却資産の耐用年数等に関する省令(昭和40年 大蔵省令第15号)に定める定率法を採用している。

② 無形固定資産

減価償却資産の耐用年数等に関する省令(昭和40年 大蔵省令第15号)に定める定額法を採用している。

(4) 引当金の計上基準

① 賞与引当金 …………… 役員、職員(派遣を含む。)の賞与の支給に備えるため、支給見込み額のうち当期に帰属する額を計上している。

② 退職給付引当金 …………… 役員、職員の退職給付の支給に備えるため、期末自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

税込み方式を採用している。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前 期 末 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額	当 期 末 残 高
特定資産				
基本金	1,650,549,979	661,980	1,844,360	1,649,367,599
退職給付引当資産	62,214,000	6,094,700	3,066,700	65,242,000
法人運営準備資産	15,404,140	0	228,090	15,176,050
事業活動準備資産	10,000,000	0	0	10,000,000
国際情報活動準備資産	79,880,468	298,256,700	212,775,376	165,361,792
合 計	1,818,048,587	305,013,380	217,914,526	1,905,147,441

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当 期 末 残 高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する 額)
特定資産				
基本金	1,649,367,599	(1,649,367,599)	(0)	(0)
退職給付引当資産	65,242,000	(0)	(0)	(65,242,000)
法人運営準備資産	15,176,050	(0)	(15,176,050)	(0)
事業活動準備資産	10,000,000	(0)	(10,000,000)	(0)
国際情報活動準備資産	165,361,792	(127,470,000)	(37,891,792)	(0)
合 計	1,905,147,441	(1,776,837,599)	(63,067,842)	(65,242,000)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取 得 価 額	減 価 償 却 累 計 額	当 期 末 残 高
建物付属設備	9,112,950	8,481,314	631,636
什器備品	26,021,448	24,532,311	1,489,137
合 計	35,134,398	33,013,625	2,120,773

5. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は次のとおりである。

(単位:円)

科 目	債 権 金 額	貸倒引当金の当期末 残高	債権の当期末残高
未収金	90,769,934	0	90,769,934
合 計	90,769,934	0	90,769,934

6. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
第19回シティグループ・インク円貨社債	92,632,646	110,713,000	18,080,354
第55回三井物産株式会社 無担保社債	100,000,000	103,540,000	3,540,000
第10回東京地下鉄株式会社社債	100,000,000	117,303,800	17,303,800
オーストラリアコモンウェルス銀行債	100,000,000	120,200,000	20,200,000
フランス国有鉄道債	100,000,000	117,280,000	17,280,000
第138回 利付国債(20年)	50,000,000	57,479,000	7,479,000
第146回 利付国債 (20年)	100,793,125	118,320,000	17,526,875
ドイツ復興金融公庫債	100,000,000	109,912,000	9,912,000
第151回 利付国債 (20年)	151,346,812	169,005,000	17,658,188
政府保証第237回日本高速道路保有・債務返済機構債券	98,712,456	108,590,000	9,877,544
第152回 利付国債 (20年)	99,148,660	112,740,000	13,591,340
第110回 東日本旅客鉄道無担保普通社債	100,000,000	120,279,600	20,279,600
第161回日本高速道路保有・債務返済機構債券	100,000,000	120,320,000	20,320,000
外貨建て債リパッケージ・パワーリバースデュアル債	100,000,000	109,030,000	9,030,000
合 計	1,392,633,699	1,594,712,400	202,078,701

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残 高	当 期 増加額	当 期 減少額	当期末 残 高	貸借対照表上の 記載区分
補 助 金	富山県	0	34,804,880	34,804,880	0	
	日本海事センター	3,619,127	30,600,000	29,129,127	5,090,000	未払金(返還予定額)
助成金	日本財団	560,011,468	396,360,000	422,089,676	534,281,792	特定資産、前受金、未払金、(返還予定額)
合 計		563,630,595	461,764,880	486,023,683	539,371,792	

8. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
事業実施に伴い、次のとおり振替えた。	
地方公共団体(富山県)からの補助金を振替	34,804,880
日本海事センターからの補助金を振替	30,600,000
日本財団からの助成金を振替	305,890,000
内訳	
1 2020年度助成事業費を振替 (305,890,000)	
特定資産を負担金として振替	11,000,000
1 特定資産(国際情報活動準備資産)79,880,468円のうち11,000,000円を 事業資金に充てるため、取崩し振替	
特定資産(基本金)の運用に伴い発生した利息を振替	32,359,025
合 計	414,653,905

9. その他

(1) 会費収入増減表

(単位:円)

区 分	相手先	前年度末	当期増加額	当期減少額	期末金額
正会員	増減なし	0	0	0	0
計	57団体(269口)	13,450,000	0	0	13,450,000
賛助会員	広島タンカー(株)	50,000	0	50,000	0
	商船三井テクトロート(株)口数減	200,000	0	100,000	100,000
	水産エンジニアリング(株)口数減	250,000	0	200,000	50,000
計	55団体 77口	4,200,000	0	350,000	3,850,000

(2) キャッシュ・フロー計算書関係

現金及び預金の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

現金及び預金勘定

現金 100,000 円

預金 216,616,783 円

216,716,783 円

(3) リース取引関係

① 未経過リース料期末残高相当額

(単位:円)

	1年以内	1年超	合計
未経過リース料期末残高相当額	2,930,664	3,571,150	6,501,814

② 当期の支払リース料、減価償却相当額及び支払利息相当額

(単位:円)

支払リース料	3,195,402
減価償却相当額	0
支払利息相当額	0

(4) 退職給付関係

① 退職給付債務及びその内訳

退職給付引当金 65,242,000 円

② 退職給付債務等の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、期末自己都合支給額を基礎として計算している。